

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
委員会報告	3・6
平成27年度決算審査結果	4
主な質疑	5
9月定例会 議案等審議結果一覧	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

# 議会だより

発行  
那須烏山市議会  
編集  
議会広報委員会  
事務局  
☎0287-88-7114



日本女子オープンゴルフ選手権 (10月2日 烏山城カントリークラブ)

9月定例会が9月6日(火)に招集され、9月20日(火)までの15日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は6ページに掲載しています。  
※なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第133号」をご覧ください。

## 一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字になつてゐる項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されてゐますので、そちらもご覧ください。

滝口 貴史 議員

- 1 日本女子オープンにおける本市の支援について
- 2 市立保育園の今後の運営について
- 3 民間借家を活用した家賃補助制度の再構築について
- 4 ポケモンGOについて

平塚 英教 議員

- 1 市街住宅密集地の火災防災対策について
- 2 那須南病院の機能充実について
- 3 「空き家」対策と定住促進について
- 4 介護保険再改定計画に反対を再生可能エネルギー設備設置
- 5 乱開発防止対策について
- 6 本市のブランド化と地方創生について

矢板 清枝 議員

- 1 防災対策について
- 2 景観形成作物推進モデル事業について
- 3 婚姻届のサービスについて

望月 千登勢 議員

- 1 まちづくり団体及び、ふれあい活動団体への支援事業のあり方について
- 2 A・L・Tを導入した学校教育が及ぼす、地域社会への効果について
- 3 防災計画の見直しについて
- 4 市民のニーズに合った行政の支援体制について

高德 正治 議員

- 1 自治基本条例の整備に向けた取り組みについて
- 2 ジオパークについて
- 3 花公園について
- 4 福祉タクシーとデマンドタクシーについて

小堀 道和 議員

- 1 一億総活躍社会の取り組みについて
- 2 台風被害の荒川堤防復旧工事について

中山 五男 議員

- 1 国民の祝日「山の日」の啓発について
- 2 職員採用について
- 3 公金の徴収体制について
- 4 社会を明るくする運動の推進について

相馬 正典 議員

- 1 合併10年を経過しての市政運営の総括について
- 2 道の駅について
- 3 山あげ行事について

高田 悦男 議員

- 1 合併処理浄化槽の補助制度について
- 2 税徴収について
- 3 防災・災害時の対応について
- 4 道路・河川の草刈りについて

渋井 由放 議員

- 1 入札時の新方式導入について
- 2 統一的な基準による地方公営施設の整備について
- 3 図書館の指定管理について
- 4 障がい者優先調達推進計画について
- 5 山あげ会館について
- 6 ユニバーサルデザインの取組について

沼田 邦彦 議員

- 1 国道294号線旭交差点区間の道路改良工事と無電柱化について
- 2 市単独事業のふれあいの道づくり事業の取り組みについて
- 3 八溝地域道路整備促進同盟会について

## 議会の動き

- 平成28年7月
- 30日○議会だより第41号発行
- 8月
- 30日○議会運営委員会  
○議員全員協議会  
○議会改革調査特別委員会
- 9月
- 6日○議員全員協議会  
○第4回定例会 (20日まで)
- 8日○議会広報委員会  
9日○行財政改革調査特別委員会
- 13日○各常任委員会 (14日まで)
- 20日○議員全員協議会  
○議会改革調査特別委員会  
○行財政改革調査特別委員会
- 10月
- 13日○議会広報委員会  
19日○議会広報委員会  
21日○議会改革調査特別委員会  
○行財政改革調査特別委員会







ここにこ保育園の保育の様子

市立保育園の今後の運営について (問) 市内には私立と公立の保育施設が混在し、今後少子化が進行する中で、保育ニーズが高まっている。課題がある中、入園者だけでなく、保育士等の人材を複数の保育施設で奪う形となる。市公共施設再編整備計画及び子ども・子育て支援事業計画における保育施設等の対応方針を踏まえ、公立保育施設の民営化に向けた現在の進捗状況について

平成28年9月定例会 一般質問から ※質問・答弁の内容は要約してあります。会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

滝口貴史議員

市立保育園の今後の運営について

(問) 市内には私立と公立の保育施設が混在し、今後少子化が進行する中で、保育ニーズが高まっている。課題がある中、入園者だけでなく、保育士等の人材を複数の保育施設で奪う形となる。市公共施設再編整備計画及び子ども・子育て支援事業計画における保育施設等の対応方針を踏まえ、公立保育施設の民営化に向けた現在の進捗状況について

望月千登勢議員

ALITを導入した学校教育が及ぼす、地域社会への効果について

(問) ALIT(外国語指導助手)の導入で得られた児童生徒の強みとは何か。 (答) 外国語を介したコミュニケーションにより、子どもが将来に向けて自分の道をたくましく切り拓いていく自信を自然と身につけられることである。 (問) 平成28年度を含めた平成19年度からのALIT事業費総額は。 (答) 約2億2千万円である。



なすから英語塾受講生による観光案内の様子

(問) 多くの事業費を投入した社会的還元効果は何か。 (答) 事業による教育的効果・豊かな人間性作りが、本市を担う人材育成に貢献している。今後は、子どもたちに地域で英語力を発揮する機会を設け、なすから英語塾受講者とのボランティア活動の実現などを考えている。

中山五男議員

職員採用について

(問) 平成29年4月市職員募集人員は12名程度としているが、市の職員、嘱託職員等何名体制になる見込みか。 (答) 平成28年度職員数は251名であり、来年3月の定年退職者等は20名を想定している。それに再雇用職員と新採用職員を加えれば250名になる見込み。嘱託職員等は現在142名雇用しているため、29年度も相応の確保が必要と考える。なお、本市では職員削減を図っていることから職員数は全国平均以下になっている。

(問) 指定管理者等により外部委託して民間活力を求めているが、検証しながら職員適正化を図ってまいらぬか。 (答) 指定管理者等により外部委託して民間活力を求めているが、検証しながら職員適正化を図ってまいらぬか。



窓口対応をする市役所職員



さらなる機能充実が期待される那須南病院

(問) 南那須地域の中核病院として重要な役割を果たす那須南病院の機能充実に向けて、どのような対策、検討が進められているか。特に病院駐車場の拡充、人工透析病床増床の具体化に向けた対策や医療スタッフの充実に向けた取り組みについて、この病院を運営する広域行政事務組合を構成する市長として説明を求めらる。

平塚英教議員

那須南病院の機能充実に

床の増床を視野に入れながら本市と那珂川町の財政状況を勘案し協議したい。人工透析病床の増床は必要だが専門医の確保が必須である。医療スタッフの充実と合わせ、県、自治医大、独協医大に随時出向き、医師派遣の要望活動を行っている。

高徳正治議員

自治基本条例の整備に向けた取り組みについて

(問) 市民協働によるまちづくりを推進するためには市民、行政、議会の役割や責任を明確にした基本的ルールである自治基本条例の制定が必要と考えるが、制定に向けた取り組みについて伺う。

(答) 自治基本条例は、自治体運営の基本的なルールや住民の権利、まちづくりの方向性等について規定した当該自治体の憲法といえるべき最高法規である。市民参画やNPOと行政との協働、コミュニティ活動などの必要性が一層高まる中で、市民参画や協働によるまちづくりの仕組み、そして、市民、議会、首長、行政職員等の役割や責務を明確に定める必要性を感じている。今後は次期総合計画の策定に向け、市民の参画をいっただきながら、本市におけるまちづくりのあり方について慎重に協議を行う予定である。条例制定にあたっては、市民の皆様に対し基本的な情報などを十分に提供しながら行政、議会、



統合に向けて新たに建設中の武道館

市民が丸となった策定プロセスを経なければ意味がないため、意見を伺いながら調査研究を進めたい。また、市民憲章の制定に向けた作業も進めている。

相馬正典議員

合併10年を経過しての市政運営の総括について

(問) 合併後10年を振り返り、これまでの市政運営に際し、特に庁舎整備を含む公共施設再編整備について市長はどのように総括するのか。

(答) 現在、庁舎整備比較検討調査を委託しており、年内には結果が報告される見通しである。あわせて公共施設再編整備計画を踏襲した公共施設等総合管理計画を策定中である。今後は、現存する公共施設の課題等を再精査して、個別公共施設ごとに対応方針をまとめたい。

合併10年を経過しての市政運営の総括としては、一定の成果を挙げられたのではないかと考えている。とはいえず庁舎を初めとする公



共施設の再編整備の他、少子高齢化対策や雇用対策、そして農林水産業の振興等、積み残した課題も山積していることも事実である。厳しい財政状況ではあるが、子供たちが将来にわたり、住み続けたいと思う小さくてもキラリと光るまちづくりに向け、市民の生活優先を基本とした市政運営を行ってまいりたい。

**矢板 清枝 議員**

**統一の基準による地方公会計の整備について**

(問) 国は、統一の基準による財務書類を原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で作成し、予算編成時に積極的に活用することとする通知を出したが本市の取組み状況を伺う。

(答) 地方公会計の整備に際しては、従来からの現金主義、単式簿記による予算、決算制度に加えて、発主主義、複式簿記といった企業会計的手法を活用した財務書類を作成することになる。また、新たに整備する固定資産台帳は、地方自治法で定められた対象資産に加えて道路、公園、下水道などのインフラ資産を含んだものである。過去に建設された施設が更新時期を迎える中で、施設全体の最適化を検討する上で重要な基礎資料となり、平成28年度に策定予定の公共施設等総合管理計画の基礎データとしても利用されることになる。なお、財務書類(貸借対照表、行政コスト計算

書、純資産変動計算書、資金収支計算書)は、それぞれに目的を持って作表され、かつ相互に関連し、見えにくかった経営状況を明らかにするものとして活用される。全国の自治体が統一基準に沿って作成することから公正で客観的な分析を他自治体との比較の中で行うことが可能となる。

**小堀 道和 議員**

**防災対策について**

(問) 被災者支援に必要な情報を一元的に管理する被災者台帳の導入と導入後の運用について伺う。

(答) 国の示す指針では台帳作成後における効果等が示されているところであるが、本市における有益性や費用対効果も考慮して、導入に向け調査研究を進めていく。

**高田 悦男 議員**

**婚姻届のサービスについて**

(問) 婚姻届に際し記念となるものを作成できないか伺う。

(答) 平成27年度に合併10周年記念事業として、婚姻届と出生届に限り記念ファイルを作成した。この事業



婚姻届提出時に配付されるファイルとシール

**高田 悦男 議員**

**一億総活躍社会の取り組みについて**

(問) 国の目玉政策「一億総活躍社会実現」のための行政の役割は市活性化のための提案や行動案を市民からたくさん引出すことであるが、またそのような文化づくりだと思ふ。今の行政の文化は「そうは言っても難しい」というYes-But文化である。この文化を「どうすればできるか考えよう」というYes-How success文化、さらには「もっと良くするために考えて欲しい」と市民に働きかけるYes-Lets try 文化に変えることが市民ばかりでなく市職員をも輝かせるための鍵であると思うが見解を伺う。

(答) 市民協働を指向すべきであり、これらが実施される時にはYes-How success や Yes-Lets try 文化が定着していると思う。この精神を人材育成方針の参考にしたい。

**高田 悦男 議員**

**合併処理浄化槽の補助制度について**

(問) 合併処理浄化槽の取り換え工事時の補助制度については、先進他市町同様設置から30年未満であっても補助対象とし運用すべきと考えるが、見解を伺う。

(答) FRP(強化プラスチック)製の浄化槽は耐久性に優れており、適切に管理すれば30年以上使用可能である。しかし東日本大震災のような災害時は浄化槽本体に亀裂、破損が発生することも想定される。そのような場合、今後は十分な現地調査を行い柔軟な対応を行う。

では、窓口で婚姻届や出生届を受けた際に、届出書の写し等を保管するための記念ファイルと市のキャラクターのオリジナルシールのセットを渡している。昨年度1年間の予定であったが、現在ある記念ファイルがなくなるまで引き続き実施している。その後は、記念となるものとして本市独自の有効な方法を検討していく。



長期休暇中の貸し出しの要望があるテニスコート

**道路、河川の草刈りについて**

(問) 道路愛護会や河川愛護会による草刈りについては自治会会員の高齢化がますます進み、見直しを図るべきと考えるが、見解を伺う。

(答) 道路愛護作業については国、県、市道の沿線520キロメートルにわたりゴミ拾い、草刈り等を行っていただいでいる。愛護会会員の高齢化、ひとり世帯の増加により愛護会活動に支障を来している。地域に密着した道路、河川環境の充実に向け、県の「愛ロードとちぎ」の導入も含めて愛護活動の継続的な運営の仕組みづくりを進めたい。

**ホームステイ受け入れについて**

How success 文化で実現すべきと思うがどうか。

(答) ①については実現するためのルール等を検討したい。②については来年度からの実施に向け検討すること。③については一般市民と協力して受け入れることができれば実施したい。

**沼田 邦彦 議員**

**国道294号線旭交差点区間の道路改良工事と無電柱化について**

(問) 恒常的な渋滞と危険に困却する旭交差点。県土木事務所では今年度より測量を開始。区間内の無電柱化に向けた市当局の取り組み状況、県土木との連絡調整、完成年度を伺う。

(答) 無電柱化については

県の都市計画課に相談し調査研究を行っている。旭交差点改良事業と連動して無電柱化事業を導入できるよう最大限努力を傾注し、1年でも2年でも早い着工を目指しトップセールスを重ねていく。

(答) 10年間で77件、施工実績10・5キロメートル総事業費1億100万円。少ない経費で大きな効果を上げている。今後の高齢化による労力不足の対策として、シルバー人材センターにも積極的に働きかけを行っていく。

**JR烏山線利用促進対策特別委員会 活動報告**

7月23、24の両日烏山駅前に市議会議員の他、からすまる・やまどん達も集合。勇壮なふるさと太鼓の「お出迎え」に人力車も登場し華やかさを演出。烏山線を利用して山あげ祭りにお越しいただいたお客様を盛大に歓迎することができました。11時41分着の「キハ40形気動車」が満員の乗客を乗せて到着。出席議員からすまる達も横断幕を

とって金額以上に深みのある事業だと考える。合併10年を経過した今、取り組み状況と今後の展開について伺う。



道路のごみ拾いをする子ども達



ふるさと太鼓保存会も迫力ある演奏で歓迎



烏山線で訪れた観光客を歓迎する議員

委員長 高田悦男



# 平成27年度 決算審査

平成27年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の決算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等で本会議において報告された内容を掲載します。

## 総務企画常任委員会

◎所管する課等

総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

### 総合政策課

◎各種重要案件につき、議会に示された後に二転三転することが度々ある。庁内の合意形成がきちんと図られているのか疑問を感じる。総合政策課においてリーダーシップを発揮し、庁内で十分な議論を経た上で結論を導き、しっかりとした形で提案されたい。

◎市の財政状況は現在でも県下低位にあり、さらに今後は合併に伴う財政優遇措置が縮小されていく。財政規模の適正化は避けては通れない課題であるので、速やかに策を施されたい。

◎市が各種団体等に交付している補助金等は、総額で年間5億円を超えているが、補助の必要性そのものに疑問を感じるものも散見される。今後、財政規模の適正化を

に感じる。市の財政状況を鑑み、段階的な削減を検討されたい。



平和の鐘を鳴らす中学生

### 市民課

◎窓口にマイナンバーカードや個人番号通知カードを持参しないことで、市民に不便が生じることのないよう、制度の周知を徹底されたい。

◎疾病は予防、早期発見が重要である。健康診断の受診率を上げるため、工夫して取り組まれたい。また、再検査が必要となった者の受診やその後の継続した治療を徹底するための策を講じ、市民の健康づくりに励まれたい。

### 健康福祉課

◎高齢者福祉タクシー券、敬老祝い金、敬老会への補助金など市単独事業の給付金は、市の財政状況を考えると見直しが必要となつてきている。減額や廃止する場合は数年かけ徐々に実施するなど、市民への負担をできるだけ抑え理解を得られたい。

◎医療費の増減を分析し、疾病予防対策の効果を検証することで、高齢者自身で疾病を予防し健康を維持できるように今後の施策に生かされたい。

### 税務課

◎税の収納に際しては大変なご苦労をされていることは認識している。その甲斐もあり徴収率はここ数年改善傾向ではあるものの、まだまだ十分と言えない。適正に徴収することは当然であるが、加えて今まで以上に誠心誠意をもって納税者と対峙し、徴収率の向上に努められたい。

## 文教福祉常任委員会

◎所管する課

市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課

### 市民課

◎窓口にマイナンバーカードや個人番号通知カードを持参しないことで、市民に不便が生じることのないよう、制度の周知を徹底されたい。

◎疾病は予防、早期発見が重要である。健康診断の受診率を上げるため、工夫して取り組まれたい。また、再検査が必要となった者の受診やその後の継続した治療を徹底するための策を講じ、市民の健康づくりに励まれたい。

### 健康福祉課

◎高齢者福祉タクシー券、敬老祝い金、敬老会への補助金など市単独事業の給付金は、市の財政状況を考えると見直しが必要となつてきている。減額や廃止する場合は数年かけ徐々に実施するなど、市民への負担をできるだけ抑え理解を得られたい。

◎医療費の増減を分析し、疾病予防対策の効果を検証することで、高齢者自身で疾病を予防し健康を維持できるように今後の施策に生かされたい。

### こども課

◎烏山放課後児童クラブはこども館を使用し行っ

ているが、施設の安全性に不安がある。安全な保育ができる場所の確保のため、小学校を使用している他4箇所の児童クラブと同様に、烏山小学校の空き教室の利用に向け教育委員会と連携し早急に対処されたい。

### 学校教育課

◎県立烏山高校の進学者減少対策としての通学費補助や、配付対象生徒のうち一部のみが使用するラジオ講座の英語テキスト無償配布は、市の財政を考えると廃止も視野に入れ見直す必要がある。金銭的な補助ばかりでなく、継続的に支援できる別の方法も検討されたい。

◎教育関係者やなすから英語塾の受講者による子ども達への体験型の英語トレーニング等、費用を抑えた事業を考案し、さらなる英語教育の充実を図られたい。

### 生涯学習課

◎市民が図書館を有効活用するためには、指定管理者制度の是非も含め、他市の事例の視察などを通し研究することが必要である。また、本の専門家



有効に活用したい図書館

である図書館職員から教師やPTAが学校図書や修理等支援を受けたり、一緒に活動したりできる関係づくりをし、良い本に触れることができる機会を多くつくられたい。

### 文化振興課

◎烏山城が保存に必要な補助を受けられる国指定の史跡となるために、ジオパークや資料館も含め、さらなる調査研究を進められたい。

◎ジオパークのDVDを制作し、市民や観光客が訪れる公共施設や観光施設で映像を流す等、市内外に本市の地層や化石の素晴らしさを効果的に発信されたい。

### 商工観光課

◎企業立地については、農政課とも連携を図りながら、本市に多くある山林や丘陵地帯等の土地を、例えばテーマパークや花公園等に活用できるように企業に提案するなど、発想を変えて取り組まれたい。

◎商業振興対策事業のプレミアム商品券の発行については、短時間で売り切れる状況にある。地域振興券のようなものがないかも含め、プレミア率や発行の方法、内容について幅広く市民に利用され、商業活性化に繋がる事業になるように検討されたい。

### 環境課

◎河川の浄化は、本市のシンボルである清流と鮎の

## 経済建設常任委員会

◎所管する課等

農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

### 各課横断的なもの

◎特産品開発・六次産業化・市ブランド化については、市、農協、商工会、観光協会等も含めオール那須烏山体制で協議会を設置し、本腰を入れて取り組まれたい。なお、特産品開発について市内で個別に取り組みを行っている方々に対し、しっかりと支援を図る独自の体制作りにも努められたい。

### 農政課

◎本市の地域農業を守るために農地の集積・集約化と担い手の育成を図り、

集落営農の組織化に本格的に取り組まれたい。将来を担う若手農業後継者が育つ農政に努められたい。

### 商工観光課

◎今取り組んでいる元気な森づくり事業をさらに定着させるために、とちぎの元気な森づくり県民税を引き続き実施するよう県に強く要望されたい。

### 環境課

◎河川の浄化は、本市のシンボルである清流と鮎の



鮎釣りを楽しむ釣り人たち



遡上<sup>せきじょう</sup>においても重要な課題である。清流を守る会等の民間団体や、市民と一体となった河川の浄化に取り組みたい。

**都市建設課**

○市営住宅使用料については、滞納繰越分も着実に減少しており、現年度納付分も未納が無い状況であり評価する。引き続きこの状態が維持できるように努められたい。

○道路及び橋梁の維持管理については、合併特例債の減少、税収減等、財政の厳しさが見込まれるもとで、将来を見据えた長寿命化計画を策定し、国からの交付金事業等を導入して、市の財政負担を少しでも圧縮できるように努められたい。

**上下水道課**

○企業債の繰上償還の実施による支払利息の圧縮と、簡易水道の有収率の向上は評価できる。それを踏まえ、上水道についても引き続き有収率を向上させる対策を実施されたい。

○戸別訪問や各種啓発活動などの地道な取り組みをされていることは評価するが依然として烏山地区の下水道接続率が低位である。南那須地区の下水道や農業集落排水事業と比較しても接続率に格差があるため、引き続き接続率向上に向け努力されたい。なお、下水道負担金、使用料の未納が発生しないよう、対策も併せて検討されたい。

# 主な質疑

9月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。  
会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。



パンの販売やいちご狩りを行っているふじた体験むら

## 農業公社の経営状況説明書の提出について

議員 市民ふれあい農園の利用状況はどうか。

答弁 平成24年度以降15、16区画にとどまっています。ふじた体験むら全体として、今後、利用方法、管理方法について見直しをする。

## 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議員 荒川放課後児童クラブでは希望者が多くなっているが、今後学童を増やすためには何人の支援員が必要なのか。その対策は検討しているのか。

答弁 現在、支援員4名で対応している。学童を増やすと、最低6名の支援員が必要となる。施設の改良も必要となり、まだ具体的な計画はできていないが早急に質の確保をしていきたい。

## 一般会計補正予算(第2号)について

議員 江川小のグラウンドの敷き砂工事130万円、烏山中のつり下げバスケットゴール装置改修工事482万円について伺う。

答弁 江川小のグラウンドの敷き砂工事は、8月末に1回目を行ったが砂の状態が完全にならなかつた。これをもう1度行うための費用である。烏山中のつり下げ式のバスケットゴールは、両面ともおろした状態でまき上げることができないためこれを改修する費用である。

議員 電気自動車急速充電器の設置場所と工事期間について伺う。

答弁 野上の烏山南公民館駐車場敷地に年度内完成を目標に設置する。

議員 サンライズ国見宿泊施設解体工事の期間と残された用地の使い道について伺う。

答弁 年度内に工事を完了したい。用地は解体後、地権者に返す予定。

議員 災害対策費60万9千円を何を購入するのか。

答弁 災害時に市内の各避難所で特設公衆電話として子機を安否確認等に使用できるようにするための費用である。1施設2台程度32カ所に発信専用の電話機を配備し、万が一の時に避難してきた方が連絡できるようにする。

## 平成27年度決算に関する総括質疑

議員 自治会公民館施設整備費97万3千円、南那須公民館施設整備費43万1千円、境公民館施設整備費127万4千円の内訳を伺う。

答弁 自治会公民館施設整備費は、各自治会等の公民館、コミュニティ施設等を改修する場合に総事業費の3分の1以内で助成する費用。南那須公民館の施設整備費は、第1会議室と第2会議室の扉を壁にする改修工事費。境公民館の施設整備費は簡易水洗トイレを水洗トイレに交換する際に設置する合併浄化槽の費用の不足分である。

議員 地域介護・福祉空間整備推進交付金について伺う。

答弁 介護保険事業者が介護ロボットを導入する際の経費を一部補助するもので今回、市内3事業所へ補助する。上限額が1事業所当たり92万7千円。補助対象額の10分の10が国から市を通して事業所に交付される。

議員 外国語版観光パンフレットは何カ国語作ったのか。また、このパンフレットはどこで扱っているのか。

答弁 英語、韓国語、中国語(2種類)の4言語で101万部を作った。現在は、市役所と観光協会、民芸館等で配布している。県が行う、台湾やシンガポールでのイベントでも活用している。

議員 ふるさと応援寄附金は、平成25年度から27年度にかけて、件数は増えているが金額は平成25年度の半分以下になってしまっている。現在の状況も含めて説明を求めたい。

答弁 平成25年度は、4件で430万円の大口寄附があり金額が大きくなっている。平成28年度は、現時点で236件、1291万2千円ほどである。

議員 ジオパークへの市民の認知度、理解度はどの程度深まっているか。

答弁 認知度、理解度はまだ深まっていないと考えている。今後、住民説明会等を実施してPRをしていく。

議員 カープミラーは、どのような基準で設置等が行われるのか。

答弁 地元からの要望や事故が多発しているところに、道路管理者等と協議の上で設置している。

議員 新規事業である生活困窮者自立支援事業の内容を伺う。

答弁 生活保護に至る前の段階の方を対象とした、自立相談支援事業と、住宅確保給付金支給事業の2点が必須の事業である。

議員 こども医療費が中学3年生まで現物給付方式に移行されたが、どのような成果、効果が生まれたのか。また、状況に変化が生じているか。

答弁 子供にやさしいという面では評価があったが、費用が増加した。

議員 マイナンバーカードの登録者数と基幹システムとの今後の計画について伺う。

議員 老人憩の家は修繕費が424万6千円もかかっている。英断をもって閉鎖すべきだと思うが市長の考えを伺う。

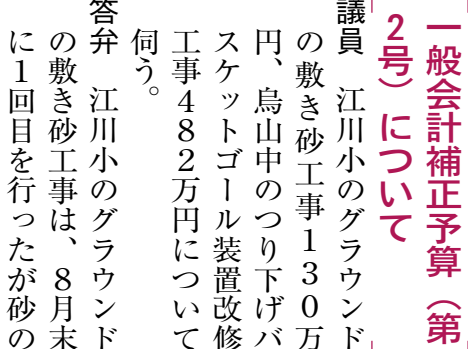
答弁 今後の施設再編の計画の中で明確に方針を出していきたい。

議員 長者ヶ平官衙遺跡保存事業はどのような内容か。

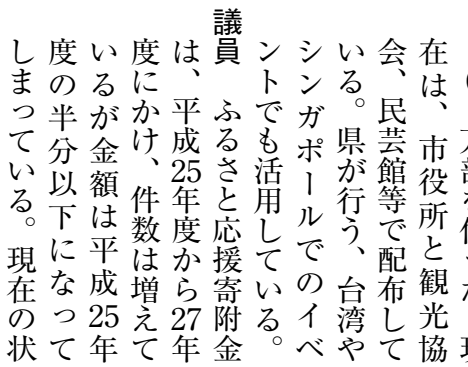
答弁 土地2880・99平方メートルを210万3042円で購入した。駐車場と看板を整備して周知活動を行っていきたい。

議員 がんの検診の自己負担金を大幅に引き下げたが、その他の受診率の向上策について伺う。

答弁 来年度はインターネットでの予約の受付を開始し、夜間の婦人がん検診を設置することで受診率が上がると考えている。



寄附者への返礼品の一例 パラグライダー体験



元気に遊ぶ子供達

## 9月定例会の本会議日程と傍聴者数

月	日	内容	傍聴者数	月	日	内容	傍聴者数
9月	6日(火)	開会・上程・採決・付託	4人	9月	9日(金)	一般質問	20人
9月	7日(水)	一般質問	13人	9月	12日(月)	決算総括質疑	5人
9月	8日(木)	一般質問	18人	9月	20日(火)	上程・報告・採決・閉会	0人
			計				60人



### 9月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等	審議結果	議案等	審議結果
議案第5号 教育委員会委員の任命同意について	同意	議案第7号 平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第4号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	認定第3号 平成27年度熊田診療所特別会計決算の認定について	認定
議案第1号 平成28年度一般会計補正予算(第2号)について	可決	認定第6号 平成27年度農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定
議案第2号 平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	認定第7号 平成27年度下水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第3号 平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	認定第8号 平成27年度簡易水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第6号 災害による財産の損害に対する相互救済事業の委託について	可決	認定第9号 平成27年度水道事業会計決算の認定について	認定

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																
		相馬	小堀	滝口	矢板	望月	田島	川俣	久保	渡辺	高徳	佐藤	沼田	樋山	中山	高田	小森	平塚
認定第1号 平成27年度一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第2号 平成27年度国民健康保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第4号 平成27年度後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第5号 平成27年度介護保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※掲載は採決順で、議長(渡辺議員)は表決に加わらない。 ※認定第1号~第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決



タブレット講習会の様子

当委員会は、本市の議会改革を進めるために設置した全議員参加の委員会です。会議はすでに4回開催し、当面調査する次の3項目を決定しました。

① 現議員定数18名が適正数か否かについて。  
② 議会基本条例の制定について。この条例制定の目的



委員会で挨拶をする中山委員長

は、開かれた議会を目指し議会報告会や市民との意見交換会を開くよう定めるものです。

③ 議会にタブレット端末を導入することで、活性化、事務の効率化につながるかなどです。

委員長 中山 五男

#### 議会改革調査特別委員会

#### 活動報告



表彰を受ける佐藤議員(左)

表 彰  
栃木県市議会議長会より、佐藤昇市前議長と渡辺健寿前副議長に対し、会務運営に尽力された功績で感謝状が贈呈されました。



歌舞伎舞踊を観覧する秩父市御一行

秩父市御一行山あげ祭を視察  
本市同様、「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録が予定されている秩父市御一行が、7月23日に山あげ祭の視察にお見えになり、歌舞伎舞踊の観覧や当市議会議員との意見交換等を行いました。

### 議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

### 議会だよりの紙質について

本市の議会だよりは、単価が低い再生紙の中から、市民の皆さんが読みやすい紙を使用しています。

### 9月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
請願書第3号	烏山郵便局北側(都市計画街路新道線JR烏山廃線敷まで)の水路の暗渠工事に関する請願書	相馬 正典 川俣 純子	採 択
請願書第4号	小志鳥地区農業用水路の早期復旧について	滝口 貴史	採 択
請願書第5号	月次・南大和久線の道路拡張工事について	望月千登勢	継続審査

### あしがき

8月後半から10月はじめまで台風が7度も日本列島に襲来するなど長雨と天候不順が続く、日本各地で災害が発生させ、農作物への悪影響も出ています。今年当初台風の発生が少ないと言われてきましたが夏以降海水温の上昇とともに台風が日本の近海で多く発生する事態となりました。地球温暖化と呼ばれて久しいところですが台風と長雨が続き、日本列島が亜熱帯化しているのではと不安を覚えます。地球温暖化対策として化石燃料に頼らない生活が求められています。身近なところからCO2削減、省エネ対策を進めたいものです。幸い今年の豪雨による那珂川や荒川の氾濫はありませんでした。が災害に対する備えは着実に進める必要があります。今年新作新学院高が夏の甲子園を制し、本県出身の萩野公介選手がリオ五輪男子400メートル個人メドレーで金メダルを獲得するなど私たちに限りない感動を与えてくれました。抜けるような青空のもと、スポーツに芸術に行楽に市民の皆様のご健康とご多幸、ご活躍を期待してやみません。

(平塚 英教 議員)

